



第2回 日本視野学会学術集会
モーニングクルズス ②

縦切りでみる視機能

— 網膜内層と網膜外層 —



座長
吉富 健志 先生
(秋田大学)

今回のモーニングクルズスは、OCTの読み方についてです。現在、眼科領域のあらゆる分野でOCTは欠かせない検査機器になっていますが、疾患によって見る場所が違って来るのも注意すべき点です。今回は、駿河台日本大学病院の森隆三郎先生に、黄斑部疾患で大事な網膜外層の読み方を、東京大学の間山千尋先生には、緑内障診断で大切な網膜内層の読み方についてわかりやすく解説していただきます。OCTには色々な情報が詰まっていますが、疾患によって見る場所が異なります。しかし、どの患者さんを診察するときもOCTに詰まった情報を見逃さないようにしないといけません。網膜内層も外層も、共にしっかりと見て、視機能異常を引き起こす形態的变化を色々な方面から検討することによって、明日からの診療に役立てていただけたらと思います。



演者
間山 千尋 先生
(東京大学)



演者
森 隆三郎 先生
(駿河台日本大学病院)

共催 第2回 日本視野学会学術集会
大塚製薬株式会社 / 千寿製薬株式会社



2013年

5月19日(日) 8:00~9:00

第2会場・5F 講堂

中継 第3会場・6F 講堂

東京慈恵会医科大学 大学1号館

〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8

- 第2回日本視野学会学術集会へのご参加には参加登録が必要です。
 - ホームページにて事前参加登録が可能です。
 - 2013年4月30日まで早期割引を実施しております。
(※以降は当日登録となります)
- <http://square.umin.ac.jp/~jps/2ndmeeting/meeting2.html>

縦切りでみる視機能

—網膜内層と網膜外層—

吉富 健志 先生 (秋田大学 眼科 教授)

- 略歴 1981年 九州大学医学部卒業
- 1986年 九州大学医学部付属病院助手
- 1987年 国立別府病院医師
- 1988年 米国YALE大学 Research Associate
- 1991年 北里大学医学部 眼科専任講師
- 1994年 北里大学医学部 眼科助教授
- 1999年 和歌山県立医科大学 眼科助教授
- 2003年 秋田大学医学部感覚器学講座 眼科学分野教授
- 2009年 秋田大学大学院医学系研究科医学専攻
病態制御医学系 眼科学講座教授
現在に至る

緑内障 -OCTからみる網膜内層-

間山 千尋 先生 (東京大学医学部眼科学教室 講師)

緑内障眼の視神経乳頭形状や網膜神経層厚を定量的に評価する機器はこれまで複数開発されてきたが、近年になって登場したOCTの進歩は目覚ましく、特に初期緑内障の診断においてはすでに必須のツールになっている。緑内障の評価において注目されるのは網膜の内層と呼ばれる、神経線維層、神経節細胞層、内網状層の層厚である。視神経乳頭周囲網膜では神経線維層の薄い部分が神経線維層欠損として検出される。黄斑部では神経節細胞層、内網状層にも比較的厚みがあり、3層それぞれの非薄化が検出できる。これらの層厚は視野と関連しながら、緑内障の進行とともに薄くなることが知られている。

本講演では、網膜内層の各層厚が緑内障によって、また加齢や白内障などの病態によってどう変化するのか、OCTを使ってどれだけの精度で緑内障の診断が可能になるのか、また実際に緑内障の診療においてOCTが有用な例や、問題となりうる点について考えたい。

- 略歴 1998年 東京大学眼科学教室入局
- 2000年 さいたま赤十字病院
- 2009年 東京大学医学部附属病院 助教
- 2011年 東京大学医学部附属病院 特任講師
- 2012年 東京大学医学部附属病院 講師
現在に至る

黄斑疾患 -OCTからみる網膜外層-

森 隆三郎 先生 (日本大学医学部視覚科学系眼科学分野 診療准教授)

非侵襲的に数秒で高解像度の眼底の断面画像が得られる光干渉断層計(OCT)は、黄斑疾患の診断に不可欠な検査となっています。しかし、黄斑疾患を疑い、そのOCT所見を見て、中心窩の陥凹が正常に保たれていないだけで「黄斑浮腫」や「黄斑変性」などと診断し、それ以上の詳細な検討をしないことがあるのではないのでしょうか。歪視、暗点、視力低下などの視機能の低下の原因を検討する際には、黄斑部の網膜外層にどのような変化が生じているのかを、OCTと眼底写真とを並べ、病巣の位置を合わせて、じっくり確認する必要があります。例えば、「黄斑浮腫」は、黄斑浮腫を形態で分類しその原因病巣を見つけます。「黄斑変性」は、網膜色素上皮レベルの異常とそれに伴う網膜外層の異常所見を確認します。また、中心窩の陥凹が保たれていても、網膜の非薄化や、視細胞外節レベルの僅かな異常が生じていることもあります。講演では、黄斑疾患のOCTの読影の際に、基本的なチェックすべきポイントを症例を提示しながら解説し、OCTからみた網膜外層の異常と視機能の低下について考えていきたいと思えます。

- 略歴 1995年 日本大学医学部卒業、同眼科入局
- 2000年 駿河台日本大学病院眼科助手
- 2004年 医学博士号取得
ベルギー ゲント大学眼科留学(1年間)
- 2008年 日本大学医学部視覚科学系眼科学分野 助教
- 2012年 日本大学医学部視覚科学系眼科学分野 診療准教授
現在に至る